



# 目録情報の基準とその運用(雑誌編)

---

国立情報学研究所 開発・事業部  
コンテンツ課目録情報管理係

平成18年度総合目録データベース実務研修



# 本日の内容

---

1. 雑誌の基本
2. NIIにおける雑誌目録管理
3. 逐次刊行物タイトル変遷(マイナーチェンジ)
4. 電子ジャーナルの取扱い
5. 雑誌所蔵データ更新

演習



# 雑誌の基本(1): 雑誌とは？

- NACSIS-CAT における「雑誌」とは  
終期を予定せず逐次的に刊行され、個々の  
出版物理単位を識別・順序付けする番号があるもの
  - － **タイトル:**  
記述対象とする逐次刊行物全体を通じて共通し、他の資料と同定識別できる固有の名称(コーディングマニュアル(以下、CM)6.2.1F1)
  - － **巻次:** 番号等による順序付けを示す
  - － **年月次:**  
年月日あるいはそれに準じた暦に関連する記号による順序付け  
\* 出版年との違いに注意(CM6.2.3D)



## 雑誌の基本(2): 書誌の作成

---

- 記述対象：
  - 同一の本タイトルを継承している終期を予定しない一連の刊行物全体である。(目録情報の基準6.2.1)
- 新規書誌作成の指針 (CM0.4.3)
- 初号主義：
  - データの記述を行う上の基準号として優先的に採用されるのは、初号である。初号が入手できない場合は、入手できるものの最初の号(所蔵最古号)に基づいてデータ記入を行う。(CM6.0D1)

なぜ初号主義か？



## 雑誌の基本(3): 統計情報

- 雑誌レコード統計

|             |            |
|-------------|------------|
| 雑誌書誌レコード件数  | 292,551件   |
| 雑誌所蔵レコード件数  | 4,235,556件 |
| 雑誌所蔵館数 (FA) | 1,492館     |
| 変遷ファミリー件数   | 38,354件    |

(平成18年8月末日現在)

雑誌レコードは「学術雑誌総合目録」から継承した資産



# NIIにおける雑誌目録管理(1)

## NIIの役割

---

1. システムの運用管理
2. 書誌管理
  - 書誌レコード運用上のルール管理
  - 書誌レコード報告受付, レコードメンテナンス

なぜ、雑誌ではNIIが書誌管理をやっているのか？



# NIIによる雑誌目録管理(2)

## 作業内容統計

|      | 作業内容                                | 1ヶ月あたり                       |
|------|-------------------------------------|------------------------------|
| 日次作業 | 書誌チェック(新規・修正)                       | 問題なし : 約750件<br>問題あり : 約150件 |
|      | Q&A対応                               | 約30件                         |
|      | データクリーニング                           | 200 ~ 300件                   |
|      | 変遷認定・マップ作成処理                        | 約150件                        |
|      | 双子(重複)統合                            | 平均10~20件                     |
| その他  | 月次新規レコードチェック<br>レコード調整発送準備<br>情報源整理 |                              |

(平成18年度4-6月平均)



# NIIによる雑誌目録管理 (3)

## 雑誌におけるレコード調整

- 書誌の同定・所蔵登録に関する問合せ
  - 図書のように作成館が明らかではないため、NIIに対して情報源の確認等の依頼がある。
- 参加館からの報告
  - 以下の場合には書誌画面のコピーと情報源を添えてNIIに報告する。
    - 新規に書誌を作成した場合
    - 書誌を修正した場合
    - タイトル変遷を発見した場合
  - 平成17年度の報告数
    - 8,029件の新規作成報告 (報告館数:266館)
    - (年間の書誌新規作成は10880件なので約80%の報告率)
    - 3,985件の修正報告 (報告館数:227館)

雑誌を所蔵している1492館のうち書誌新規作成館は20%弱。





# NIIによる雑誌目録管理 (4)

## 運用上の基本的な方針

- 準拠する目録規則

|                        |  |    |
|------------------------|--|----|
| 和雑誌 (日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語) | NCR1987R3<br>2006年6月, 第3版刊行<br>(13章継続資料) | CM |
| 洋雑誌 (上記以外の言語)          | AACR2<br>最新は2002R(2004update)            |    |

- NIIで確認できたものは, 情報源優先で正しい形に直す。
- タイトル変遷・書誌作成単位等に関する判断

目録規則・CMにも明確な規定がない場合は, NIIとして判断にユレが出ないよう総合的に判断する。



## NIIによる雑誌目録管理 (5) レコードメンテナンスの取り組み

---

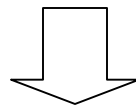
- PUBなし書誌
  - 記述必須フィールドに情報が入っていない書誌(1980年代登録書誌等)の洗い出しとデータクリーニングを実施。
- 重複統合
- 多言語資料
  - 中国語, ハンゲル, アラビア語等, 暫定運用期間を経て取扱いが決まった資料類は, ルールに基づき修正する。
- 所蔵データ更新
  - 受入継続(CONT:+)でありながら, 何年も更新されていない所蔵データの更新を呼びかける。



# 逐次刊行資料のタイトル変遷(1) (マイナーチェンジ)

- 継続資料タイトル変遷における「マイナーチェンジ」(軽微な変化)の導入

従来:原則として句読点の変更以外の変更をタイトル変遷とみなす



AACR2R2002, NCR1987R3 13章継続資料  
- 「重要な変化」と「軽微な変化」の2種を設ける。  
- 「軽微な変化」はタイトル変遷とみなさない。



# 逐次刊行資料のタイトル変遷(2) (マイナーチェンジ)

- 「マイナーチェンジ」(軽微な変化)のNACSYS-CATへの導入
  - － 軽微な変化(マイナーチェンジ)は、タイトル変遷とせず、同一レコードとして扱う
  - － 軽微な変化は原則として遡及的には適用しない。既存の書誌レコードに対する遡及的な統合や、変遷マップの遡及的変更は実施しない。

2006年4月 CM 6章(和雑誌)7章(洋雑誌)の改訂を実施  
(6.0.1和雑誌タイトル変遷, 7.0.1洋雑誌タイトル変遷ほか)

- NACSYS-CAT上の関連レコード (2006年8月末日現在)
  - － 変遷マップ: 38,340件
  - － 変遷関係にある書誌レコード数: 89,406件



# 逐次刊行資料のタイトル変遷(3) (マイナーチェンジ)

---

- 軽微な変化の運用

- 難しい点

- 「逐次刊行物の種別を示す語」の判断
  - 細則検討の際に、個々の単語では定義しきれないという結論に。
- 「団体名」の判断
  - 表記形の変化か団体名そのものの変化かの判断。
  - 上位団体名の変更をどうとらえるか。
- 出版者の意図，JPMARC等の書誌単位等との整合性
  - 「逐次刊行物としての継続性」からの総合的判断。

運用開始から半年が経過。まだ試行錯誤中。



# 電子ジャーナルの取扱い(1)

## NACSIS-CATにおける電子ジャーナル(ニュースレター記事より)

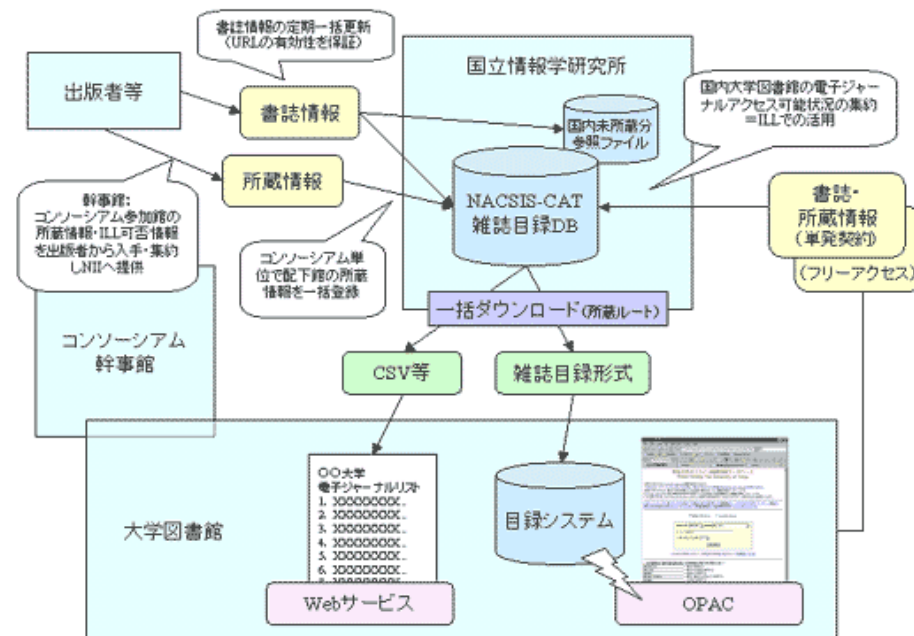
|          |   |
|----------|---|
| 2000年8月  | 総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱い(暫定案)<br>コーディングマニュアル 6.0.4電子ジャーナルの書誌記述             |
| 2000年12月 | 総合目録データベースへの電子ジャーナルの登録  |
| 2001年12月 | 電子ジャーナルに関するコーディングマニュアルの改訂 (ILL対応)<br>電子ジャーナル(ScienceDirect及びIDEAL)書誌レコードの作成 |
| 2002年3月  | 電子ジャーナルの総合目録データベース所蔵登録に関する調査  |
| 2004年6月  | 総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱いについて   |



# 電子ジャーナルの取扱い(2)

- NIIによる電子ジャーナル管理(案)とその現状
  - NACSIS-CAT/ILLニュースレター14号(2004.6.23)
  - <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl2/No14/1416.htm>

電子ジャーナル情報の管理 概念図(案)





# 電子ジャーナルの取扱い(3)

- 電子ジャーナル(EJ)書誌の現状

- 書誌レコード数:6,020件

Science Direct, Blackwell Synergy, Springer Link, JSTOR, CiNii, J-Stage...

- NIIによるEJ管理(案)と経緯

- 図書館の情報リソースとしては、本来CAT(目録)でも管理すべきもの

- EJの書誌所蔵データ登録を簡略化するため、出版社からデータを受領し、ISSNをキーにマッチングしてNACSIS - CATに投入する計画。

図書館のEJを取り巻く世の中の流れの変化(リンクリゾルバetc) ,  
各図書館のサービスの中でのEJの位置づけ(ポータル?) ...  
現在CATにおける取扱いの方向性を模索中。





# 電子ジャーナルの取扱い(4)

- EJ取扱いにあたっての問題点
  1. 書誌作成単位
    - － タイトル変遷の基準は冊子体の規定に準じて考えると、出版者の提供する単位や契約単位と必ずしも一致しない。
  2. 所蔵登録
    - － 所蔵に相当するアクセス可能巻次の把握が難しい。
    - － 冊子体と異なり、所蔵巻次は契約により随時変更が発生する。
  3. CATへの登録対象
    - － フリーアクセスのジャーナルは対象外、
    - － そもそも図書館でアクセス保証できるEJリソースとは??



# 雑誌所蔵データ更新(1)

- 書誌 VLYRフィールド:  
初号、終号、巻次変更の直前・直後の号の巻次・年月次を記録する
- 所蔵 HLV、HLYRフィールド:  
HLVには所蔵している巻号を記録する。  
HLYRには所蔵の範囲を西暦を用いて記録する
  - VLYR: 1号(2000)-15号(2001); 1巻1号(2001)-
  - HLV: 1-15; 1-2, 3(1,3) HLYR: 2000-2003
- 「+」の使い方
  - 必ず、所蔵する最新号のデータまでを記入した上で、CONTへの「+」記入を行う。
    - 所蔵する最新号以降も継続して受け入れる予定がある場合、「+」を記入する。
    - HLYR、HLVに所蔵する最初の号の所蔵巻次のみを記入し、CONTに「+」を記入しても、以降の号をすべて所蔵している意味にはならない。



# 雑誌所蔵データ更新(2)

## 全国雑誌所蔵データ更新作業

---

- 全国雑誌所蔵データ更新作業
  - 2006年2月 予備アンケート発送
    - 参加 = 1368館(8割), 不参加 = 221館, 無回答 = 105館
    - <不参加の理由>
      - オンライン定期更新を実施しているため, 一括作業不要
      - システム入替, 移転等のため今年度は対応不可
      - 人手・時間が足りない, システム導入が未済 など
  - 2006年4月 作業用資料発送
  - 2006年8月 途中経過
    - 2006年3月末の未更新所蔵件数\* : 約47万件
    - 2006年8月半ばの未更新所蔵 : 約29万件 (40%低減)
    - ( \* : CONT = + かつRNWDTが20040401以前のもの)



# 雑誌所蔵データ更新(3)

## 全国雑誌所蔵データ更新作業

---

- 雑誌 = 継続して刊行される資料  
所蔵情報の継続したメンテナンスが必要
- 「+」の運用と雑誌所蔵未更新率の実際
  - 手作業での更新の限界
  - システム的な対応の可能性を探る  
(自動登録, ハーベスティング等)